



和泉中学校図書館 第67号 2019年11月発行

◆『ユーチューブ!!』◆

山田 明・著

ユーチューブ参考にして練習したらポンコツ陸上部が全員覚醒したwww
男女合わせて6人の桜花中陸上部。グランド使用権をめぐってサッカーチームと勝負することに。勝負種目は砲丸投げ・高跳び・100メートル走の陸上競技にもかかわらず、サッカーチームに完敗！そんな情けないポンコツ陸上部を変えたのはなんとユーチューブの練習動画だった。覚醒(かくせい)した彼らはグランド使用権を奪還するために再度サッカーチームに挑む！爆笑&感動の新型サクセストーリー。



◆『転生したらスライムだった件 1~10』◆

伏瀬・著

小説投稿サイト「小説家になろう」で連載されていた人気WEB小説が大幅改定されて出版

平凡な人生を送っていた三上悟は通り魔に刺され、37年の人生に幕を閉じた…はずだった。ふと気がつくと、目も見えなければ、耳も聞こえない…。そんな状況の中、自分があの‘スライム’に転生してしまった事に気づく。最弱と名高いモンスターであることに不満を感じつつ、お氣楽スライムライフを満喫する三上悟だったが、天災級のモンスター‘暴風竜ヴェルドラ’と出会ったことで運命は大きく動き出す。ヴェルドラにリムルと名付けてもらい、スライムとして新たな異世界生活をスタートさせた矢先、ゴブリンと牙狼族との争いに巻き込まれ、いつしかモンスターたちの主として君臨することに。



◆『アーサー王の世界 1~4』◆

斎藤洋・著

今までで一番読みやすくて面白いアーサー王物語！

アーサー王の物語は中世イギリスの伝説をもとに創作されたもので史実ではない。しかも多くの人がかっこいいアーサー王を作りだし、物語は進化していった。今では映画やゲームなどで「名剣エクスカリバー」や「大魔法師マーリン」「騎士ランスロット」は大活躍。伝説→小説→ゲームにと今でも進化し続けているといつても過言ではない。この本は数あるアーサー王物語の中でも抜群に読みやすいので、基本をおさえておきたい人にはぴったりのシリーズだ。



【クイズの答え】①-G ②-F ③-J ④-C ⑤-I ⑥-E ⑦-H ⑧-A ⑨-D ⑩-B

新刊500冊の中から紹介します〈第二弾〉

◆『世界の美しい猫101』／『世界のうつくしい犬101』◆

世界的有名な動物ポートレイトの名手マッケナの写真集のような図鑑のような…



犬と猫の写真集は数あれど、これほどまでに完成度の高いものはあまり見当たらないだろう。1ページに1種ずつ紹介されているが、その写真は、どれもそれぞれの犬・猫の魅力を最大限に引き出し、その子の性格までが表現されている。そして控えめで気の利いた説明も興味深い。見ているだけでうっとりする美しさ。



◆『池の水をぬいた！ため池の外来生物がわかる本』

加藤英明・著

かいぼりをすると海で良い海苔（のり）がとれる！それはなぜ？

私たちの身近にはたくさんの池がある。全国でもっともため池が多いのは兵庫県。大阪府は4位。昔は数年に一度、秋になると大勢で池の水をぬく「かいぼり」が行われていた。何のために池の水をぬくのだろう？「ため池」の作り方から、「かいぼり」のこと、「外来生物」についてまで、いろいろなことがわかる一冊。この本を書いたのはテレビ番組「池の水をぜんぶ抜く大作戦」「ザ！鉄腕！DASH！」などで活躍中の加藤氏。写真がすごく多いので本当にわかりやすいよ！



◆『二ノ丸くんが調査中』◆

石川宏千花・著

「ねえ、きみ、こんな都市伝説、知ってる？」

ふうがわりな少年、二ノ丸くんが調べているのは不思議でこわい都市伝説。後ろ向きに歩くと忘れないことを忘れられるトンネル。鎌で首をきる乳母車のお姉さんなど、ゾクとする4話からなる連作短編集。うまく民俗学と物語がミックスされて、すらすら読める。朝の読書などにおススメ。続編もあるよ。



◆『いいたいことがあります！』

魚住直子・著

「悪い親は子どもの外側だけを見て、心を見ていない」そんなことが書かれたノートを見つけたヒナコ。これは誰が書いたの？

受験をひかえたヒナコが大好きな漫画を描いていると、お母さんに優先順位を考えると小言を言われる毎日。最近お母さんがうつとおしい。私は家の手伝いちゃんをしているし塾にも行っている。家の手伝いを何もしないお兄ちゃんも許せない。そんなのおかしい。気持ちがモヤモヤしていたある日、友達と遊ぶために塾にウソの電話をかけているヒナコに意外な出来事が起きる…。



◆『天使のにもつ』◆

いとうみく・著

「中学2年、斗羽風汰。職場体験先は、保育園デス！」

「ただ子どもと遊んでいればいいだけじゃん」そんな理由で選んだエンジェル保育園。

ところが、子どもの遊び相手・おやつの準備にお昼寝の布団敷き…保育園の仕事は目の回るような忙しさ。持ち前のアホさかげんが受け入れられ、風汰は子どもたちに大人気。ところがだんだんひとりの5歳児が妙に気になり始める。「あの子は本当に親に大事にされているのか…？」虐待という言葉が頭をかすめる風汰だったが…。

社会のさまざまな問題に直面し、考え、成長する風汰の職場体験を描く。風汰の担任、保育士さん、園長先生、友達、先輩などサブキャラたちも魅力的！とってもいい本なので、ぜひ読んでほしい。

◆『自衛隊防災BOOK』◆

危機管理のプロ自衛隊直伝のテクニック100

災害列島日本。台風・地震・津波・火事…さまざまな災害から身を守るために知恵が詰まった一冊。ペットボトルを浮き輪がわりにする方法、懐中電灯をランタン代わりにする方法、ツナ缶・バターをローソク代わりにする方法、炎天下で熱射病を避ける方法、山で遭難した時に生存率がアップする方法、上空から見つけてもらいやすいする方法などなど。イラスト＆写真付きでわかりやすい。当たり前のことを行なうことができるかどうかが大事！ 図書室にいるときに地震が起きたら、すぐに本棚から離れましょう！

◆『中学生の質問箱 天皇制ってなんだろう?』◆

宇都宮健児・著

あなたと考えたい民主主義からみた天皇制

他国では政権が変わるとそれまでの王朝が無くなることが多く、現在では27の国にしか残っていない。長い歴史の中、為政者が変わっても天皇制が変わらず存在してきた日本。それはなぜ？ ふだん私たちが空気のように当たり前だと思っていた皇室制度を、法律の専門家はどう見ているのだろう？ 他に、『まるわかり世界の王室』という本も入っています。

◆『くらべる日本 東西南北』◆

おかべたかし・著

日本全国31の文化の違いを写真に撮った！

ご飯とみそ汁がたてに並ぶのが「大阪府の定食」、横に並ぶのが「東京都の定食」。丸くて白いのが岡山県のきびだんご、細長くて茶色いのが「北海道のきびだんご」。西日本で多い名前は「田中と山本」、東日本で多いのが「佐藤と鈴木」。

これらにはちゃんと理由がある。その説明も面白い。



スポーツの秋 読書にトライ！

◆『明日にトライ！ リーチ・マイケル物語』◆

ひろはたえりこ・著

目標のじやまをしてくる人は必ず出てくる。でもそれを聞く必要はない

ニュージーランド出身でありながら、ラグビーワールドカップ日本代表チームのキャプテンをつとめたリーチ・マイケル選手。「日本に恩返しをしたい」と語る彼の想いの原点がここに描かれている。15歳で日本の高校に留学してきた彼が、初めての部活練習で衝撃を受けたことは？ また、胸が熱くなるような仲間との絆がとても読みやすくまとめられている。



◆『不可能を可能にする大谷翔平120の思考』◆

大谷翔平・著

大谷翔平の名言がいっぱい！ 「先入観は可能を不可能にする」

不可能と言われた投打二刀流を可能にしたメジャーリーガー大谷翔平の言葉を集めた本。言葉ひとつひとつにポジティブな考え方、向上心、目標達成への情熱があふれている。彼は高校時代から「ごみ拾い」を実践してきた。それは運を呼び込むため。他人がポイっと捨てた運をひろっているんだとか。写真もたくさん載っている。



◆『世界の美しいスタジアム』◆

息をのむような美しい世界のスタジアムがたくさん載っている写真集。まずはその素晴らしさに圧倒される。なんでこんな形に？ なんでこんな場所に？ と思うデザインとロケーションにも仰天！。（巨大なワニの形をしたトルコのスタジアムがイチオシ！）

古代ローマではスタジアムは猛獣と人間が戦うショーや、公開処刑の場所だったとか… そんなスタジアムにまつわるこぼれ話も面白い。



◆『スポーツが得意な子に育つ たのしいお話365』◆

「どうやったら速く走れるの？」、「オリンピック競技の見どころは？」、「有名アスリートの動きの秘密」など、あらゆるスポーツや体育にまつわるおもしろい話を1年分(365話)集めた本。

《スポーツ和名クイズに挑戦！》 こたえは裏面

- ① 排球(はいきゅう)
- ② 開球(とうきゅう)
- ③ 鎧球(がいきゅう)
- ④ 杖球(じょうきゅう)
- ⑤ 墓球(るいきゅう)
- ⑥ 避球(ひきゅう)
- ⑦ 氷球(ひょうきゅう)
- ⑧ 送球(そうきゅう)
- ⑨ 棒網球(ぼうもうきゅう)
- ⑩ 十柱戲(じっちゅうぎ)



A ハンドボール B ボウリング C ホッケー D ラクロス E ドッジボール F ラグビー

G バレーボール H アイスホッケー I ソフトボール J アメリカンフットボール